

「みうらからはじめる研究会(第3回)」のお知らせ

□日時

2018年3月21日(水・祝日) 13時30分～16時

□場所

ヴェルクよこすか(横須賀市立勤労福祉会館)4階 第1研修室

※会場は13時から17時まで予約してあります(場所は下記に地図)

□内容(予定)

はじめに 「みうらからはじめる研究会」の振り返り 高見沢実(横浜国大)

1 自然を活かした新三浦居住プロジェクト

- ① 景観資源発掘による新三浦居住プロジェクト 吉武俊一郎(吉武都市総合研究所)
- ② 谷戸再生プロジェクト 比護友一(プロジェクト代表)
- ③ やとみちプロジェクト 矢野香澄(多摩美術大学)

2 人的資源等の連携によるエコミュージアム統合モデルプロジェクト 大原一興(横浜国大)

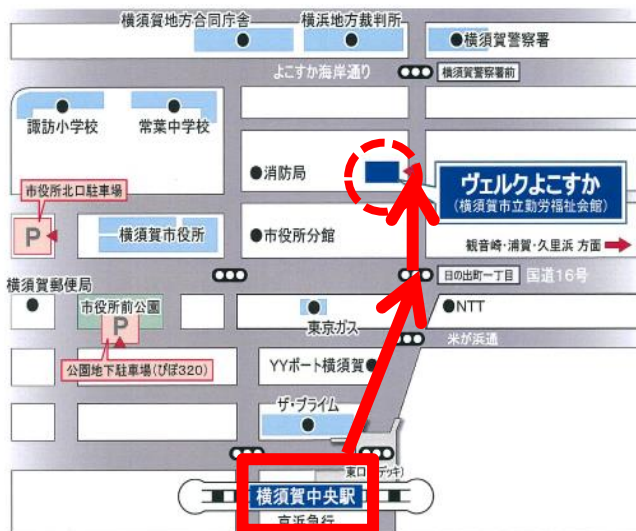
3 歴史を活かした新コミュニティ開発プロジェクト

万代会館保存活用推進協議会&大野敏(横浜国大)

4 その他

※コピーサービスもあります。(有料)

※プロジェクトを用意します。



所在地

横須賀市立勤労福祉会館(ヴェルクよこすか)
〒238-0006 横須賀市日の出町1丁目5番地
電話: 046-822-0202
ファックス: 046-824-4462

「みうらからはじめる研究会」の経緯



ユニットの活動内容

都市イノベーション研究院に所属する3つの研究室が合同で、横須賀三浦地域を対象とする地域連携事業を昨年度から行っている。具体的には、その活動は2016年度に神奈川県「個性あふれる地域づくり事業」に採択され(単年度)、谷戸地域の再生・エコミュージアム活動の連携・歴史的建造物の保存修復活用の3つの関連し合う活動を行ってきた。また、2016年度の途中から地域の方々にも呼びかけて合同で情報交換する「みうらからはじめる研究会」を組織し、11月に第1回の、3月に第2回の研究会を地元で開催した。

2017年度は2016年度の活動を継続させ、年度末に研究会を行うのを目標に、成果の情報発信を行ったり、発展的・応用的な活動を行い、人口減少で悩む横須賀三浦地域の新たなビジョン形成やネットワーク構築をすすめている。

[横浜国立大学地域連携推進機構 HP より]